

# 委員提出資料

2012年8月7日

- 行政改革を効果的に実行するには政治の強いリーダーシップが必要不可欠。同時にその政治のリーダーシップの下で、国家公務員のモラルを向上させることが極めて重要。国家公務員の一人ひとりが「誇りと志」を持って主体的に改革に向け創意と工夫をこらせるような環境を整備すべき。
- 行政における非効率、無駄の責任は政治家7割、公務員3割。従って、改めるべきは「霞が関文化」だけではなく「永田町文化」の改革も必要。
- 社会保障と税の一体改革で広く国民に負担を求めることに先だって、全公務員が自ら身を切る姿勢を示すことは極めて重要。国家公務員の給与削減等の前例にならい地方公務員も自ら負担を引き受ける姿勢を示すべき。こうした負担を国家公務員、地方公務員に課すにあたり、特別公務員である国会議員、地方議会議員なども率先して負担を受けることが望ましい。例えば給与以外の活動経費の1割返上を表明してはどうか。

以上